Pigeon

ピジョン

電子レンジスチーム&薬液消毒ケース（そのまま保管）

取扱説明書

● この度はピジョン「電子レンジスチーム&薬液消毒ケース」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

● なお、この取扱説明書は必ず保管してください。

目次

ご使用の前に必ずお読みください

安全にお使いいただくために

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

※図記号の内容は次のとおりです。

  禁 止 指 示

電子レンジの使用について

※本体が溶けたり、変形したりしますので、次のような使い方はしないでください。

●水の量が少なかったり、空だきでのご使用は絶対におやめください。（変形の原因になります。）

必ず50mlの水をトレイに注ぎ入れてから、電子レンジに入れてください。哺乳びん、または付属の計量カップを使ってはかると便利です。

●水以外の消毒（除菌）溶液などは絶対に使用しないでください。思わぬ事故の原因となり危険です。

●過度の加熱はしないでください。（変形の原因になります。）

●金属製品の消毒はおやめください。（変形の原因になります。）

●直火加熱機能（オーブンなど）で調理した直後の使用はお避けください。（変形の原因となります。）

扉を開けてしばらく放置し、庫内温度が十分に下がってからご使用ください。

●電子レンジのオート機能は絶対に使用しないでください。

●電子レンジ機能以外（オーブン、トースター、グリルなど）での加熱はおやめください。（変形の原因となります。）

機種によっては自動的にオーブン、トースター、グリルなどに切り替わるものがありますのでご注意ください。

※当製品は家庭用電子レンジ（高周波出力500W～700W）専用です。最大高周波出力が700Wを超えている場合、手動で高周波出力を切り替えることができる機種であれば500W～700Wに設定してご使用ください。

※ターンテーブルレス（フラット庫内）の電子レンジでも高周波出力を500W～700Wに切り替えればご使用できます。

※使用できる電子レンジのサイズは、幅と奥行きが27cm以上、ターンテーブル中央から天井までが13.5cm以上です。

●汚れた電子レンジ皿にのせないでください。また、ケースやフードに汚れや洗剤、油分が付着したまま電子レンジに入れないでください。

汚れや洗剤、油分が付着した部分が高温となり変形の原因になります。汚れや洗剤、油分をきれいに拭き取ってご使用ください。

●金属製の電子レンジ皿やターンテーブルには直接のせないでください。必ず陶器・ガラス製の電子レンジ専用の皿か陶器製で無地の皿をご使用ください。（ケースが溶けたり変形する原因となります。）

●その他お持ちの電子レンジの説明書に従ってください。

その他のご注意

●洗浄する際は部品をなくさないよう、十分ご注意ください。

●ご使用にならないあいだはしっかり洗浄し、乾かしてから保管してください。

●本品を冷蔵・冷凍しないでください。

●火のそばに置かないでください。

●たわし又はみがき粉でみがくとキズがつくことがあります。

ご使用の前に必ずお読みください

電子レンジ使用時のヤケドなどについて

●加熱直後はヤケドに注意してください。（高温になっています。）

※冷めるまで電子レンジ庫内に置いてから、取り出してください。

●電子レンジからケースを出し入れする際や持ち運ぶ際は、横置きの状態で必ず指がかりに手をかけて、底面が水平になるようにしてください。

（フードがケースから外れるおそれがありますのでフードを持って持ち上げないでください。）

●ヤケドに注意して出し入れしてください。（電子レンジ庫内の壁面やケース内に残った熱湯・蒸気でヤケドするおそれがあります。）

※ガラス製哺乳びんは、加熱後もしばらく熱いのでご注意ください。

●ケースを電子レンジから取り出す際は、指がかりを持ってケースを水平に取り出してください。ケース内に残った熱湯が体にこぼれ、ヤケドするおそれがあります。

●水切りはキッチンの流しなどで行ってください。

●ケース内部のパッキンに触れると熱湯が手にかかり、ヤケドするおそれがあります。十分冷めるまで電子レンジ庫内に置いてから、取り出してください。

薬液の使用について

※さびや衣類などの脱色・変色、またはしっかりと消毒できないなどの原因になりますので、次のような使い方はしないでください。

●薬液消毒（除菌）の「用法・用量」「使用上の注意」をよくお読みください。

●溶液の入ったケースは直射日光の当たる場所に置かないでください。（消毒（除菌）効果が低下します。）

●消毒（除菌）する哺乳びん、乳首、キャップ類は必ず溶液に完全に浸かるようにしてください。（浸かっていない部分は消毒（除菌）されません。）

●金属製品および木製品の消毒（除菌）はおやめください。（変色・変質または金属部のさびの原因となります。）

●薬液消毒（除菌）の対象物によっては印刷面や材質などが変色・変質する場合がありますのでご注意ください。

●原液および消毒（除菌）溶液（原液を注いだ水）は衣類などに付くと脱色・変色のおそれがあります。液が飛びはねないよう注意してお取扱いください。

●消毒はさみを使用する場合は薬液対応の消毒はさみをご使用ください。（金属部が露出している消毒はさみは金属部のさびの原因となります。）

※哺乳びんを薬液対応消毒はさみで引き上げる際、哺乳びんの中に溶液が入っていて重くなっており、消毒はさみでつかんだまま中の溶液を出そうとするとびんを落とすおそれがあり危険です。びんを引き上げたら、必ず手に持ち替えて、中の溶液を出してください。

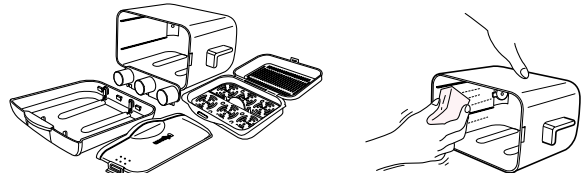
●ケースに熱湯を入れないでください。（変形およびヤケドをするおそれがあります。）

溶液を熱湯で薄めないでください。

●薬液消毒（除菌）の際は縦置きにしてご使用ください。溶液の入った状態で横置きにすると中の液がこぼれますので絶対しないでください。

●薬液消毒（除菌）の際、パッキンは必ずケース内側から栓をしてください。（漏れの原因となります。）

お手入れのしかた

やわらかいスポンジと薄めた中性洗剤を使用して洗い、水もしくはお湯でよくすすいでください。

※薬液消毒（除菌）後、ケース類に白い粉が付着することがありますが、これは水道水に含まれるミネラル分や消毒（除菌）溶液がミルクと反応して生成された塩です。

お願い

・使用前には衛生管理のためケース類をよく洗浄してください。

・汚れや洗剤、油分が残らないように丁寧に洗ってください。（汚れや洗剤、油分が残っていると電子レンジ使用の際、高温になり変形の原因になります。）

・みがき粉やたわしで磨かないでください。（傷がつきます。）

仕 様

サイズ：幅 24.8cm × 奥行き 21.1cm × 高さ 13.4cm

部 品	原材料	耐熱温度
ケース	ポリプロピレン	140℃
フード		
トレイ		
ホルダー		
バスケット		
プレート		
計量カップ		
パッキン	シリコーンゴム	140℃

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町４－４

（お客様相談室） TEL 03（5645）1188

受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）

ピジョンホームページは http://pigeon.info/

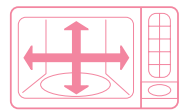
特　長

○電子レンジでスチーム消毒した後、保管用ケースとしてご使用いただけます。薬液消毒（除菌）の場合は、消毒しながら保管することができます。
○電子レンジスチーム消毒は、一般家庭用電子レンジを使用してわずか5分で哺乳びん3セットをまとめて消毒できます。
○薬液消毒（除菌）は、1時間以上浸すだけで簡単にしっかり消毒（除菌）できます。
○縦置き、横置きのどちらも可能で、フードを開け閉めして哺乳びんを取り出せます。
○乳首・キャップなどをセットする専用バスケットがついているので、かさばりません。
○部品が取り外せるので洗いやすく衛生的です。

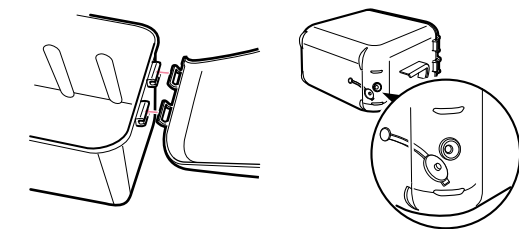
各部のなまえ

※消毒（除菌）方法によりセットの方法が決められています。使用方法をよくお読みください。

フードの取り付けは、簡単におこなうことができます。また、消毒(除菌)・保管の際は、フードがきちんとしまっていることを確認してください。

ご使用方法　電子レンジスチーム消毒

準備

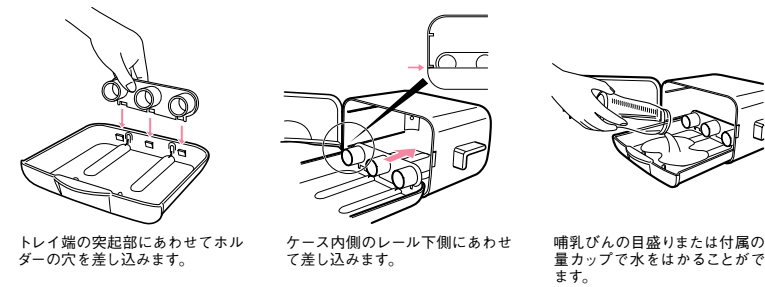
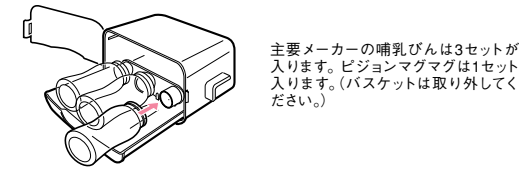
当製品は家庭用電子レンジ（高周波出力500W～700W）専用です。最大高周波出力が700Wを超えている場合、手動で高周波出力を切り替えることができる機種であれば500W～700Wに設定してご使用ください。
※使用できる電子レンジのサイズは、幅と奥行きが27cm以上、ターンテーブル中央から天井までが13.5cm以上です。

①ケースにフードをセットします。

※スチーム消毒の時はパッキンをはめないでください。

②ホルダーをトレイにセットし、トレイをケースに差し込みます。ケースを横置きにした状態でトレイの上に水を50ml入れます。

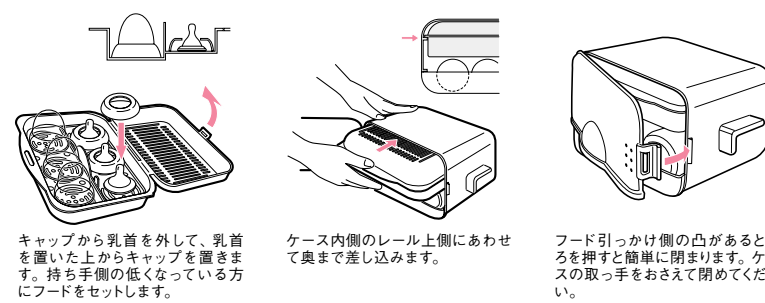
トレイ端の突起部にあわせてホルダーの穴を差し込みます。

ケース内側のレール下側にあわせて差し込みます。

哺乳びんの目盛りまたは付属の計量カップで水をはかることができます。

③ホルダーに哺乳びんの口元をあわせてセットします。トレイをケースの奥に止まるまで差し込みます。

主要メーカーの哺乳びんは3セットが入ります。ピジョンマグマグは1セット入ります。（バスケットは取り外してください。）

④バスケットに乳首・キャップ・フードを入れ、ふたを閉じてケースにセットします。ケースのフードを閉じます。

キャップから乳首を外して、乳首を置いた上からキャップを置きます。持ち手側の低くなっている方にフードをセットします。

ケース内側のレール上側にあわせて奥まで差し込みます。

フード引っかけ側の凸があるところを押すと簡単に閉まります。ケースの取っ手をおさえて閉めてください。

お願い

・使用前には衛生管理のためケース類をよく洗浄してください。

⚠注意

・加熱後は冷めるまで電子レンジ庫内においてから取り出してください。お湯や蒸気が噴出し、ヤケドするおそれがあります。

お願い

・消毒を正しくおこなうために水の量は正確に入れてください。
・空だきや50mlより少ない水の量で使用しないでください。（変形の原因になります。）

⚠注意

・スチーム消毒では、水以外の消毒（除菌）溶液などは絶対に使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。

お願い

・哺乳びん・乳首・キャップ・フードはセットする前に哺乳びん野菜洗いなどでよく洗浄してください。

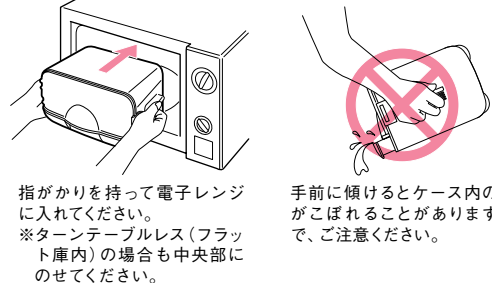
哺乳びんなどの大きさについて
※びんの高さが177㎜以上192㎜未満のものは、ホルダーを外したトレイに横向きに3本セットすることができます。（びんの高さが192㎜以上のものはセットできません。）
※びん胴部の直径が70㎜以上のものはホルダーを外し、びんの向きを替えたりバスケットを取り外して使用してください。
※びん首が曲がっていたりドーナッツ形状のびんについてはホルダーを外してセットしてください。ただし、種類によっては3本まとめてセットできない場合があります。
※その他、特殊な形の哺乳びんについてはセットできないものがありますが、びんの高さが192㎜未満であればバスケットを外すことで使用できます。
※哺乳びんのフードの高さが52㎜以上のものはバスケットに入りません。

消毒

⑤横置き状態のまま、電子レンジに入れます。

・ケースを水平にして、電子レンジの皿の中央にのせてください。

指がかりを持って電子レンジに入れてください。
※ターンテーブルレス（フラット庫内）の場合も中央部にのせてください。

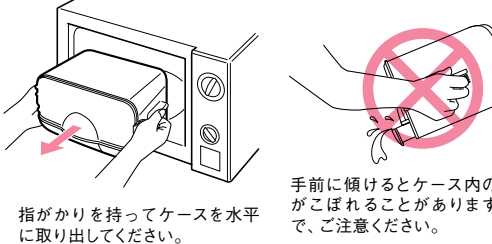
手前に傾けるとケース内の水がこぼれることがありますので、ご注意ください。

⑥電子レンジ機能で5分間加熱します。

・電子レンジの強弱の切り替えは、必ず「強」にあわせてください。
・最大高周波出力が700Wを超えている場合、手動で高周波出力が切り替え可能であれば500～700Wに設定して使用してください。

⑦電子レンジから取り出します。

・電子レンジの加熱直後はケース・フードなどはたいへん熱くなっています。冷めるまで電子レンジ庫内に置いてから取り出してください。

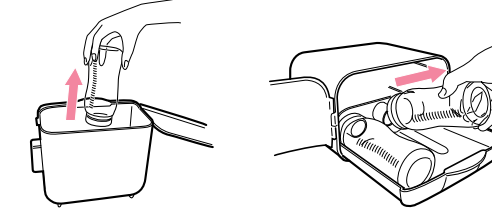
指がかりを持ってケースを水平に取り出してください。

手前に傾けるとケース内の水がこぼれることがありますので、ご注意ください。

⑧ケースを縦置きにし、ケースから水を抜きます。

・キッチンなどの水回り場所で平らなところに置き、パッキンのある側を下に向けて、ケース内に残った水が出てくるようにケースを傾けます。ヤケドに注意して水を抜いてください。

保管

⑨消毒終了後は、保管用ケースとしてご利用いただけます。

・縦置き、横置きのどちらの状態でも保管可能です。その際は、フードを閉めた状態で保管してください。
※保管時は、消毒直後の状態を持続するものではありません。

⚠注意

・電子レンジの庫内が熱い間は使用しないでください。（変形の原因になります。）
・必ず電子レンジ機能だけをお使いください。オーブン、トースターなどの機能と併用しないでください。
・電子レンジのオート機能は絶対に使用しないでください。
・オーブンやグリルでは絶対に使用しないでください。
・加熱前に電子レンジの取扱説明書を読み、加熱方法を再確認してください。
・過度の加熱はしないでください。変形の原因となります。

⚠注意

下記のような場合、電子レンジの電磁波が集中して部分的に加熱されることにより、商品本体や、中に入れてあるガラス製の哺乳びん・プラスチック部分などが熱変形したり溶ける場合があります。

○金属製の電子レンジ皿やターンテーブルに直接のせた場合。（電子レンジに付属の陶器製またはガラス製のレンジ皿をお使いください。）
○商品に汚れや洗剤、油分が付着していた場合。
○ターンテーブルに汚れや洗剤、油分が付着していた場合。
○ターンテーブルが回らなかった場合。
○水の量が少なかった場合。
○規定時間を越えて加熱した場合。

万一、電子レンジ庫内のものが燃えた場合は電子レンジの取扱説明書にしたがって対処してください。
また、鎮火しても電子レンジの扉をすぐに開けないでください。

⚠注意

・加熱後はヤケドに十分注意して取り出してください。（消毒ケースが高温になっています。）
・ケースを手前に傾けると加熱後の熱湯がかかるおそれがあります。ケースを水平にし、十分注意して取り出してください。

⚠注意

・水抜きはお子様の近くでは絶対におこなわないでください。
・電子レンジの加熱後はたいへん熱くなっていますので、十分冷ましてから水抜きをしてください。熱いままケースを傾けると熱湯が体にこぼれ、ヤケドするおそれがあります。
・一度ケースを縦置きにしたら、必ず水抜きをしてください。水切りをしないで横置きに戻すと、ケース内に残った水がこぼれます。

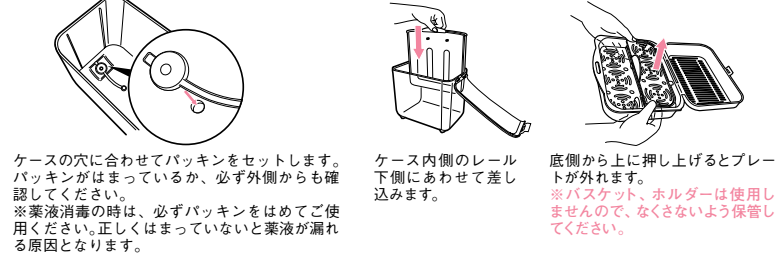
ご使用方法　薬液消毒（除菌）（ピジョンミルクポン　ピジョンミルクポンS　ピジョン哺乳びん除菌料をお使いの場合）

準備

①ケースの内側からパッキンをセットします。トレイをケースに差し込み、ケースを縦置きにします。バスケットからプレートを外しておきます。

ケースの穴に合わせてパッキンをセットします。パッキンがはまっているか、必ず外側からも確認してください。
※薬液消毒の時は、必ずパッキンをはめてご使用ください。正しくはまっていないと薬液が漏れる原因となります。

ケース内側のレール下側にあわせて差し込みます。

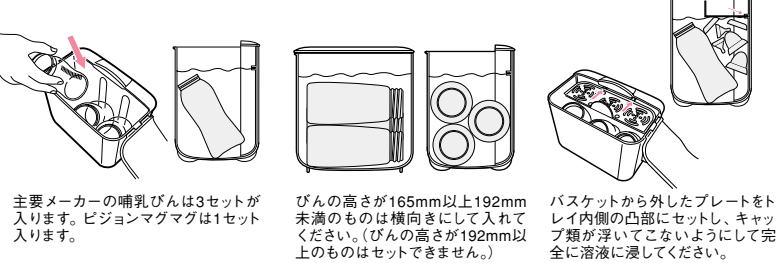
底側から上に押し上げるとプレートが外れます。
※バスケット、ホルダーは使用しませんので、なくさないよう保管してください。

②ケース内の目切り線まで水（3.4L）を入れ、原液を42.5ml入れます。原液は付属の計量カップではかってください。

・ピジョンミルクポンS（顆粒タイプ・除菌用）をお使いの場合は、1包を入れてください。

③哺乳びんの口元を上にして気泡が残らないようにゆっくり溶液に浸し、完全に浸かったらななめにセットします。乳首、キャップなどはケース内の空いたスペースに気泡が残らないように浸します。

主要メーカーの哺乳びんは3セットが入ります。ピジョンマグマグは1セット入ります。

びんの高さが165mm以上192mm未満のものは横向きにして入れてください。（びんの高さが192mm以上のものはセットできません。）

バスケットから外したプレートをトレイ内側の凸部にセットし、キャップ類が浮いてこないようにして完全に溶液に浸してください。

④フードを閉じて保管します。1時間以上浸しておくだけで消毒（除菌）できます。

保管・取り出し

⑤調乳の直前にプレートを外して哺乳びん、乳首、キャップなどを清潔な手で取り出します。溶液をよく振り切ってから調乳します。取り出した哺乳びん、乳首、キャップなどはすすぐ必要はありません。

※薬液消毒（除菌）に使える消毒はさみもご使用できます。金属部が露出している消毒はさみは、さびが発生しますので使用しないでください。

※消毒はさみで哺乳びんを液面から持ち上げたら、必ず手に持ち替えてびんの中に残った溶液を出してください。

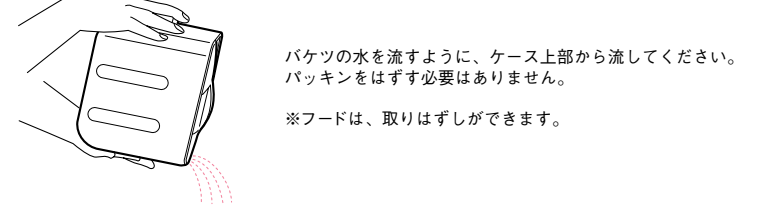
※溶液が飛び散らないように注意して取り出してください。衣服などに付くと脱色・変色することがありますのでご注意ください。

使用後の処理

⑥フードを開いてプレートを外し、哺乳びん類をすべて取り出してから、ケースの中の溶液を流し台などに流します。

バケツの水を流すように、ケース上部から流してください。
パッキンをはずす必要はありません。

※フードは、取りはずしができます。

お願い

・使用前には衛生管理のためケース類をよく洗浄してください。
・フードが開ききった状態が邪魔な場合はいったんフードを取り外して、あとで再び取り付けてください。
・薬液消毒（除菌）の使用に際してはそれぞれの「用法・用量」「使用上の注意」をよくお読みください。

⚠注意

・パッキンを開けたまま使用しないでください。溶液が漏れて衣服などに付くと、脱色・変色することがありますのでご注意ください。
・熱湯は使用しないでください。
・消毒（除菌）を正しくおこなうために水の量はケース内側の目切り線にあわせ、原液の量も正確に入れてください。

お願い

・哺乳びん・乳首・キャップ・フードはセットする前に哺乳びん野菜洗いなどでよく洗浄してください。
・溶液が飛び散らないようゆっくりと哺乳びんを浸けてください。衣服などに溶液が付くと脱色・変色することがあります。
・お子様の近くでは危険ですので絶対におこなわないでください。

⚠注意

・直射日光を避けて保管してください。
・お子様の手の届かない所に保管してください。
・溶液は24時間ごとに新しく作り直してください。

お願い

・溶液から取り出したあとすすぐ必要はありません。すすぐ場合は必ず水道水をご使用ください。
・薬液消毒（除菌）対応の消毒はさみをご使用になる場合は、消毒はさみの使用方法をよく読んでお使いください。

⚠注意

・溶液の入った哺乳びんは重くなっています。消毒はさみでつかんだまま中の溶液を出そうとすると、びんを落とすおそれがありたいへん危険ですので、びんを引き上げたら、必ず手に持ち替えて中の溶液を出してください。

お願い

・溶液が飛び散らないようゆっくりと溶液を流してください。衣服などに溶液が付くと脱色・変色することがあります。